

アートの本棚 通信 No.6

2021.10.27

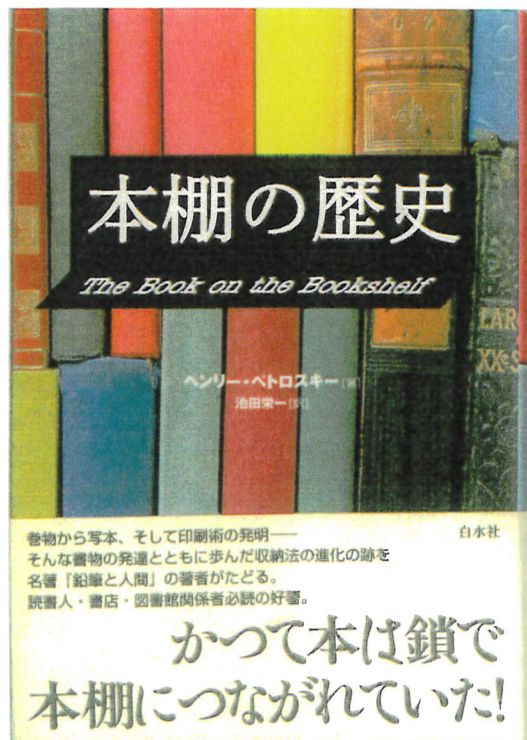
北高夢ロード実行委員会

書棚の風景・本の貌（かお）：アナログ書籍の愉しみ

10.27～11.9 読書週間 豊北・下関北高校で展示会

地域の書店の数が少なくなり、生き残った書店の書棚にも隙間が目立つ……。そんな傾向がますます顕著になるこの頃です。デジタル書籍が勢いを増していることの反映でもあるのですが、アナログ書籍「紙の本」もまだまだ頑張っています。書棚の風景には書店、図書館、そして個人の個性が反映されています。コロナ禍で昨年（2020年）は、休止しましたが、今年の北高図書室展示は、書棚と本の装いがテーマです。

さて、本の歴史を考えることはあっても、「本棚」の歴史に思いを馳せることはあまりないでしょう。そうした意味でペトロスキー著『本棚の歴史』は、大変珍しい本です。西洋で15世紀末に活版印刷が始まる以前は、手で書き写した、いわゆる写本が大変貴重でしたから、本は書棚に鎖でつながれており、その関係もあり、また本の背に書名が書かれるようになる以前ということもあって、本棚には背の方を後ろにして、つまり「小口」が見える形で並べられていた、といった話も出ています。



個人の書斎や書庫にはその本を集め、(多分?)活用している(いた)主の考え方や感性が現れているはず。フランス文学の翻訳者で異端の美術を紹介した故澁澤龍彦の書斎は、今もそのままの形で残され、本の並び順そのままに書誌データ(著者名やタイトルなど)を採録した『書物の宇宙誌:澁澤龍彦蔵書目録』は大変興味深いものです。同様に、先ごろ亡くなった「知の巨人」立花隆の書庫、いわゆる「ネコビル」等に集積された書物がそのまま写真に撮影された『立花隆の本棚』は、より衝撃的。氏の没後、古書店の方が立ち入って・・・といった記事もあり、その行く末が気になるところです。

他方、本棚に並ぶ個々の本も、それぞれに個性を放っています。本の装幀は内容を暗示するものでもあり、デザインの一領域を形成しています。装幀にとどまらず、画家などが本のレイアウトや挿絵を含め本づくりに全体的にかかわる、いわゆるアーティスト・ブックも見逃せません。『本の美術史』をはじめとする装幀関連書、アーティスト・ブックの展示会目録、さらには、これらを精力的に収集している美術館のコレクションも紹介します。この読書週間の機会に、本棚や本のあれこれを考えてみましょう。

書棚の風景・本の貌：アナログ書籍の愉しみ

下関北高校図書室 2021.10.27~11.9

第1部 本と本棚の歴史

高宮利行;原田範行著. 図説 本と人の歴史事典. 柏書房, 1997, 397p.

ペトروسキー, ヘンリー著;池田栄一訳. 本棚の歴史. 2004, 287, xi p.

グロリエ, エリック・ド著;大塚幸男訳. 書物の歴史. 白水社, 1992, 162, iii p. (文庫クセジュ)

ブラセル, ブリュノ著;木村恵一訳. 本の歴史. 創元社, 1998, 182p. (知の再発見双書)

清水徹著. 書物について:その形而下学と形而上学. 岩波書店, 2001, 382p.

池澤夏樹編. 本は、これから. 岩波書店, 2010, 244p. (岩波新書)

港千尋著. 書物の変:グーグルベルグの時代. せりか書房, 2010, 248p.

ラング, アンドルー著;生田耕作訳. 書斎. 新装復刊. 白水社, 1996, 189p.

国書刊行会編集部編. 書物の宇宙誌:澁澤龍彦蔵書目録. 国書刊行会, 2006, 473p.

巖谷國士監修・著. 澁澤龍彦幻想美術館. 平凡社, 2007, 246p.

立花隆著;會田純一写真. 立花隆の本棚. 中央公論新社, 2013, 650p.

立花隆著. ぼくはこんな本を読んできた:立花式読書論、読書術、書斎論. 文藝春秋, 1999, 375p. (文春文庫)

- 磯田和一著. 書斎曼荼羅：本と闘う人々. 東京創元社, 2002, 143p.
- 宇田川悟著. 書斎の達人. 河出書房新社, 2008, 111p.
- ヒヨコ舎編. 本棚. アスペクト, 2008, 101p.
- 藤巻徹也写真; 福士祐編. 本棚三昧. 青山出版社, 2008, 141p.
- 松岡正剛著. 松岡正剛の書棚：松丸本舗の挑戦. 中央公論新社, 2010, 127p.
- 松岡正剛著. 松丸本舗主義：奇跡の本屋、3年間の挑戦。 . 青幻舎, 2012, 513p.
- 佐野衛著. 書店の棚 本の気配. 亜紀書房, 2012, 193p.
- 心地よきブックカフェ：本を読む、本を買う、本と出会う. グラフィス, 2012, 98p.
- 高瀬毅著. 本の声を聴け：ブックディレクター 幅充孝の仕事. 文藝春秋, 2013, 262, xvip.



第2部 装幀とブック・アート

- 小野忠重著. 本の美術史：奈良絵本から草双紙まで. 河出書房新社, 1978, 354, xii p.
- 恩地孝四郎著. 本の美術. 出版ニュース社, 1973, 135p. 付：解説 24p.
- 東京国立美術館；和歌山県立近代美術館編. 恩地孝四郎展. 東京国立近代美術館；和歌山県立近代美術館, 2016, 364p.
- 中川素子著. 本の美術誌. 工作舎, 1995, 216p.
- 佐川美智子等編. 書物の森へ：西洋の初期印刷本と版画展. 町田市立国際版画美術館, 1996, 275p.

トマス, アラン・G.著;小野悦子訳. 美しい書物の話:中世の彩色写本からウィリアム・モリスまで. 晶文社, 1997, 193p.

臼田捷治著. 現代装幀. 美学出版, 2003, 261p.

臼田捷治編著. 書影の森:筑摩書房の装幀 1940-2014. みずのわ出版, 2015, 209p.

中川素子;坂本満編. ブック・アートの世界:絵本からインスタレーションまで. 水声社, 2006, 265p.

菊地信義著. 新・装幀談義. 白水社, 2008, 210p.

司修著. 本の魔法. 白水社, 2011, 264p.

森田一等編. これは本ではない:ブック・アートの広がり. 美術館連絡協議会, 2010, 87p.

矢野進等編. ある編集者のユートピア:小野二郎;ウィリアム・モリス. 晶文社、高山建築学校. 世田谷美術館, 2019, 237p.

開館記念展 II もうひとつの扉:20世紀アーティストの本. うらわ美術館, 2000, 265p.

島田有美子;吉本麻美編. 本という美術:大正期の装幀から現代のオブジェまで. うらわ美術館, 2001, 151p.

吉本麻美編. 読む風景、眺める本. うらわ美術館, 2003, 2冊.

うらわ美術館収蔵品目録 1993-2008. うらわ美術館, 2010, 318p.

Matisse, Henri. Jazz. New York: Georges Braziller, 1992, 1 vol. (1947年刊の原本(型紙による謄写=250部刊行)を縮小復刻印刷し, マティスの伝説テキストの英訳を追加)

アートの本棚 通信 No.6

2021年10月27日発行

編集・発行 北高夢ロード実行委員会 〒759-5511 山口県下関市豊北町滝部 842-6

ホームページ: <http://yumeroad.org> E-mail: kitakoyumeroad@gmail.com